

地域密着型金融の取組み状況(平成20年4月～平成21年3月)

当金庫は、地域密着型金融を推進し、その具体的取組みについてホームページに公表してまいりました。平成20年度も引き続き積極的に取り組んでおり、以下の大項目についてその取組み状況を公表します。

項 目	<p>【大項目】1.ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化</p> <p>【小項目】(1)創業・新事業支援</p>
タイトル	中小企業支援目的のファンドへの出資（地域資源活用新事業、加工組立型産業等の振興への支援事業目的）
動機（経緯）	当金庫営業区域を含む北海道内の中小企業の振興発展および地域経済の活性化に寄与し、社会的意義も大きいと判断し、ファンド組成に融資の形式で参加しました。
取組み内容	国（中小企業基盤整備機構）の制度を活用した北海道中小企業応援ファンドに10百万円を拠出しました。拠出方法としては、平成20年8月28日、（財）北海道中小企業総合支援センターに対して10百万円の融資を実行しました。
成果（効果）	<p>約100億円のファンドが組成され、今後の支援効果が期待できます。</p> <p>同ファンド事業の平成20年度採択案件は25件、採択金額63百万円（うち平成20年度分は46百万円）でした。</p>
21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>このようなファンドに対する融資による資金拠出は過去にない新たな取組みとなりました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>当金庫営業区域内での助成支援事業の対象となる企業の発掘が課題と捉えております。</p>

項目	<p>【大項目】2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底</p> <p>【小項目】(1)不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取り組み</p>
タイトル	<p>動産・売掛債権担保融資等の活用</p>
動機（経緯）	<p>不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資の徹底に向けて、優良保証会社や信用保証協会との連携による動産・売掛債権担保融資に取り組んでおります。</p>
取り組み内容	<p>興銀リースとの提携による機械担保ローンの取扱を平成 20 年 4 月 25 日から開始しました。</p> <p>前年度に続いて、信用保証協会との連携により、売掛債権担保融資に取り組んでおります。医療機関の診療報酬債権の取扱が増加傾向にあります。</p>
成果（効果）	<p>機械担保ローンの取扱実績は 1 件 2 0 百万円でした。</p> <p>売掛債権担保融資の取扱実績は 2 6 件 8 2 7 百万円でした。</p>
21 年 3 月までの取り組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>機械担保ローンの取扱実績は 1 件 2 0 百万円に終わり、予想を下回りました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>機械担保ローンの推進が課題です。</p>

項目	<p>【大項目】3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p> <p>【小項目】(1) 地域全体の活性化、持続的な成長を視野に入れた、同時的・一体的な「面」的再生への取組み</p>
タイトル	地域力連携拠点事業への取組み
動機（経緯）	<p>1．経済産業省の委託を受けて地域力連携拠点事業を実施し、当金庫営業区域内の中小企業の経営力向上、創業・再チャレンジ、事業承継を支援することにより、中小企業が中長期的に発展するための経営基盤の強化を図る。</p> <p>2．本件事業の実施により、当金庫の重要課題である課題解決型金融の強化を図り、地域経済の活性化・再生に貢献する。</p> <p>3．本件事業の実施を契機として、地域の中小企業支援機関・外部の専門家・地方自治体等の連携を強化しながら、地域社会から信頼される持続的な経営相談組織の構築を目指して経営相談機能の拡充・強化を図る。</p>
取組み内容	<p>1．地域力連携拠点内に配置されている応援コーディネーターが中心となり、お客様のご来店および同コーディネーターの訪問による相談を受け付けました。</p> <p>(1) 窓口相談 当金庫の本店内に相談窓口設置。中小企業の相談を受付。</p> <p>(2) 電話相談 同コーディネーターが、直接電話にて相談を受付。</p> <p>(3) 巡回相談 支援対象地域内の各地にて巡回相談会を開催。</p> <p>2．「地域資源活用」及び「農商工等連携」案件の発掘 当金庫の重点支援地域は、先進的かつ、有力な農業生産者が多く、「地域資源活用」「農商工等連携」につながる案件発掘を重点事業と位置付けました。</p> <p>3．創業支援 従来からの融資商品創業支援ローンと合わせた「資金と情報のセット支援」や空き店舗対策等、中心市街地活性化事業とのマッチングを目指しました。</p>

<p>成果（効果）</p>	<p>1. セミナーの開催による情報提供</p> <p>(1)主催 6 回 「経営を強くする～会計を活かした経営力の高め方～」 2 回開催し合計参加者 93 名 「生きる企業の条件～自身に課す 3 つの条件～」 1 回開催し参加者 54 名 「事業継承～計画的な事業継承のすすめ～」 3 回開催し合計参加者 77 名</p> <p>(2)共催 1 回（主催 北海道中小企業団体中央会） 「地域資源活用」及び「農商工等連携」施策活用普及セミナー 参加者 37 名</p> <p>(3)後援 1 回（主催 北海道中小企業団体中央会） 経営者 IT 経営研修会 参加者 6 名</p> <p>2. 経営相談 創業支援を含む 121 件の相談に対応しました。</p> <p>3. 巡回経営相談会の開催 11 ヶ所で 12 回開催し、合計 28 事業所からの経営相談に応じました。</p> <p>4. 外部専門家の派遣 15 社 延べ 105 日 IT コーディネーター、中小企業診断士及び、農商工等連携専門家を派遣しました。</p>
<p>21 年 3 月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題</p>	<p>【評価】</p> <p>事業の初年度として、セミナー・相談会の開催を通じて事業の P R 活動を積極的に行い、地域内での認知度は上がりつつあります。中小企業診断士や IT コーディネーターなどの専門家が身近にいない地域において、経営の相談相手として専門家を紹介することで、より高度な経営相談機能を提供することができました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>「農商工等連携」「地域資源活用」の分野では行政機関との情報交換が重要であり課題です。</p>

項 目	【大項目】3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 【小項目】(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供
タイトル	会員向けアンケート収集継続と見直し
動機（経緯）	会員の意見、要望等は経営資源のひとつであり、業務改善等による金庫経営の向上と経営に対する牽制機能と認識し、様々な方法で把握するよう努めています。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総代会前に総代の地区別懇談会を開催し、総代にアンケートを実施。 ・ 会員向けアンケートのほか、意見、要望等の集計結果を、常務会、理事会で報告し、半期ディスクロージャー誌で公表。 ・ 業務改善に反映させた取組み状況を、総代会、ホームページ、ディスクロージャー誌で公表。
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総代会前に総代の地区別懇談会を開催し、総代にアンケートを実施し、懇談会において意見、要望等が出されました。 ・ 集計結果は、常務会、理事会で報告し、半期ディスクロージャー誌で公表しました。また、苦情、要望等は担当部において速やかに対応しました。 ・ 顧客満足度向上のために業務改善に反映させた取組み状況を、総代会、ホームページ、ディスクロージャー誌で公表予定です。
21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アンケート結果等は常務会、理事会に報告し、業務改善等に役立てております。また苦情、要望等については、担当各部に速やかに報告し、レピュテーションリスク等のリスク管理と、業務改善等による金庫経営の向上と経営に対する牽制機能の向上に努めることが出来ました。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後さらに実施方法等について工夫、改善に努め、さらに充実を図っていきます。

項 目	<p>【大項目】3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p> <p>【小項目】(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>
タイトル	岩見沢 PFI (PPP)事業の勉強会とセミナー及び出前セミナーの開催
動機（経緯）	<p>(1)PFI (PPP)事業に対する認識を高め、継続的に勉強会を実施することで岩見沢市における本事業の可能性を探る。</p> <p>(2)経営情報や生活情報等を地域企業や地域住民に還元する。</p> <p>(3)当金庫職員の知識、ノウハウを地域社会からの要望に応え提供する。</p>
取組み内容	<p>(1) 岩見沢 PFI (PPP)事業の勉強会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20年9月29日 事務局勉強会開催。 ・21年3月25日 「地域 PFI 支援への取組み」を演題として講演会を実施しました。 <p>(2) 個人向けセミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「将来に向けたライフプランの設計」を札幌市及び岩見沢市において開催しました。 ・「揺れ動く世界の金融市場」を岩見沢市で開催しました。 <p>(3) 出前セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「振り込め詐欺対策について」岩見沢市栗沢町で開催しました。 ・「目の不自由な方向けの ATM の導入について」岩見沢市社会福祉協議会のボランティア活動者研修会において説明しました。
成果（効果）	<p>(1)講演会には48名が参加し、勉強会も通算10回の開催となり勉強会メンバー企業からPFI手法による事業化が実現しています。</p> <p>(2)合計175名の受講者があり、地域住民に情報等を還元できました。</p> <p>(3)合計152名の受講者があり、高齢者や目の不自由な方へのボランティア活動者に対する支援を行えました。</p>
21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <p>(1)中心市街地活性化に取り組む事業者やグループへの助言・支援を行うことができました。</p> <p>(2)土曜日の開催により多くの受講者に参加いただきました。</p> <p>(3)金庫側から出向くことで、地域の要望にスムーズに答えることができました。</p> <p>【今後の課題】</p> <p>(1)勉強会の構成メンバーが建設業関連主体のため幅広い層からの参加を募ります。</p> <p>(2)社会・経済情勢に合ったタイムリーなテーマにより情報を還元します。</p> <p>(3)地域住民等からの要望を把握し、生活ニーズに合ったテーマで行います。</p>

項 目	【大項目】3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 【小項目】(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供
タイトル	インターンシップ等金融経済教育による地域還元
動機（経緯）	平成16年度より、地域金融機関として、地域金融教育の一環として積極的に受入しています。
取組み内容	平成20年6月 地元高校生1名（2日間） 平成20年9月 札幌市内高校生7名（1日間） 平成20年9月 道内大学生5名（5日間） 平成20年11月 札幌市内中学生9名（1日間） 以上、22名の学生等を受け入れました。 大学生用カリキュラム (1)職場のルールとマナー、接遇対応について (2)信用金庫の役割と業務について (3)融資審査業務と取扱商品、企業再生支援について (4)営業推進と取扱商品について (5)ディスクロージャー、余資の運用について (6)リスク管理、コンプライアンスについて (7)集中事務業務、現金の取扱いについて (8)営業店の業務について (9)その他
成果（効果）	金融教育の一助として一定の評価をいただいていると考えています。 また、受入側の当金庫にとっても教育訓練と能力の向上に役立っています。
21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	【評価】 受入実績のある大学や中学、高校については、当金庫に対する一定の理解を得られたと考えています。 【今後の課題】 今後さらに受入体制の充実に努めていきたいと考えています。

項目	<p>【大項目】3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献</p> <p>【小項目】(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供</p>
タイトル	地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済の貢献・顧客満足度調査の実施
動機（経緯）	顧客満足度の向上に向けて、お客様の声に耳を傾け、意見、要望等を収集し、業務改善等に結び付けて、地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済に貢献する。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 営業店にアンケートボックスを設置しアンケートを実施。 本店 平成20年3月1日～6月30日 美唄支店・三笠支店 10月15日～11月14日 栗山支店・由仁支店 11月25日～12月24日 鉄北支店・日の出支店 平成21年1月13日～2月13日
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ お客様からの貴重な回答が107件寄せられました。
21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 回収した回答数は107通でしたが、アンケート結果を分析し、常務会、理事会に報告しました。顧客の意見、要望等は経営資源のひとつであり、分析結果を担当各部において業務改善等に活用していきます。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今後もいろいろな方法で顧客の意見、要望等の把握に努めていくことが必要と考えています。

項 目	【大項目】3.地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献 【小項目】(2)地域活性化につながる多様なサービスの提供
タイトル	総代会運営方法の検討実施
動機（経緯）	ガバナンス強化における健全性確保。
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総代の定年制導入、総代選考委員の選考基準の明確化、総代選考委員会の明確化等による総代選任規程の全部改定を実施。 ・ 会員向けアンケートを実施。 ・ 総代会制度、総代とその選任方法、通常総代会の決議事項、総代氏名等をディスクロージャー誌に公表。
成果（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 総代の定年制導入、総代選考委員の選考基準の明確化、総代選考委員会の明確化等による総代選任規程の全部改定を実施しました。 ・ 会員向けアンケートを実施し、220通の回答がありました。 ・ 総代会制度、総代とその選任方法、通常総代会の決議事項、総代氏名等をディスクロージャー誌に公表しました。
21年3月までの取組み状況に対する評価及び今後の課題	<p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「会員による自治」「相互信頼」「互惠」の精神を基に協同組織型金融の浸透を図るため、総代会の更なる機能向上に向けて、総代選任手続の透明性の確保と、一般会員の意見を総代会に反映させる仕組みが構築され、総代会の活性化と充実化が図られました。 <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一般会員の意見を総代会に反映させる仕組みや、会員意識の高揚強化により、総代会の活性化と充実化をさらに図っていかなくてはなりません。